光市医師会報

平成８年12月号

No. 290

郷 土 の 響

光市医師会

〈会員広場〉

ＥＭについて

守友雅彦

12月2日の新聞に産業廃棄物処分場建設問題で二人組の男に襲われ、大怪我を負って入院していた岐阜県御嵩町長の退院を、又東京都のゴミ有料化をテレビが報じていた。日本のゴミ処分場はパンク寸前である。高度工業国家へと急激に変貌して来た結果であろう。これは、単にただゴミの問題ではなく、その背景には地球規模の環境汚染、二酸化炭素増加、フロンガス増加等による地球温暖化等の重大問題がある。

地球規模の事は別にしても、生ゴミはＥＭで処理すると簡単に上質の有機肥料に変える事が出来るので、今生ゴミリサイクル運動が全国的に急速に広がっているとの事。岐阜県可児市、千葉県我孫子市その他、全国で1,000以上の市町村がなんらかの形ちで、ＥＭによる生ゴミリサイクルに取り組みはじめているとの事。

このゴミ問題、環境汚染、農薬、化学肥料等の問題もＥＭを使用すれば、大部分解決すると云う。（比嘉照夫著「地球を救う大変革」）。

ＥＭとはＥｆｆｅｃｔｉｖｅＭｉｃｒｏ－ｏｒｇａｎｉｓｍｓを組み合せた比嘉教授（琉球大学農学部）の造語。

ＥＭを開発された比嘉教授も20年前は化学肥料、農薬のエキスパート。しかし新しい農薬を使っても防除出来ない病気や虫が出る悪循環、自分の健康障害、土も悪くなると云う事で、微生物を使って生物をコントロールする研究へ。国内で有用と云われている微生物、教授自身が集めた微生物（微生物学の常識として一種づつ単独で）をチェックするも成果なし。研究を中止しようと思われた矢先の昭和56年に、微生物研究では、一度実験に使った微生物は、滅菌して捨てる事になっているのに、教授があつかって来た微生物は、人間が口に入れても差し支えないものばかりだったので、別々にしておいたものを全て混ぜて滅菌せずに捨てた所が作物と草が繁茂して来て、共存共栄のコンビネーションに気づかれ、今のＥＭのもとが出来たようです。その后、大きな木の根っこ、よく出来た堆肥、味噌、醤油等とかくよさそうな菌を片っ端から試験管の中でブレンドして「このグループなら作物が良く育ち、病気にもならない、収量も増える、味もよくなる」と云う組み合せが出来、ＥＭと造語されました。

救世ＥＭ－１号：10属80種以上の自然界から有用な微生物を集め、共存状態にした液状のもの。土の中で増殖すると抗酸化物質を生成、土・水・空気にいるすべての微生物を蘇生の方向へ導いてくれる。アミノ酸・多糖類・ビタミン等動植物の栄養になるものを分泌する。

ガンその他の病気と活性酸素の関係が云われているが、このＥＭによって生成される抗酸化物質は、環境、作物、ひいては人

間の身体を蘇生させる事になる。

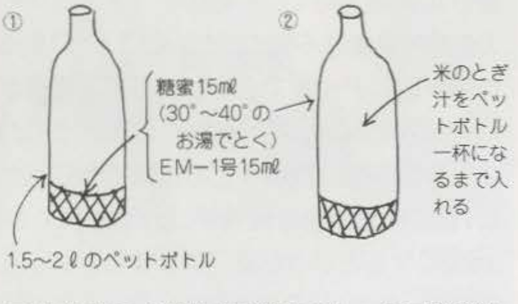
比嘉教授によると

①農業にEMを用いれば、生産性を現在の2～3倍に、農薬や化学肥料を使わないので環境汚染は一切なく、反対に土壌、水、空気まで蘇生する。

②環境に用いれば、EMはもともと汚染環境が大好きなので、われわれにとって、やっかいな汚染物質や廃棄物のほとんどのものをクリーンにし、再利用する事が可能になる。したがって世界中でEMを使えば産業革命以来積み重ねてきた環境汚染の問題は、たちどころに解決し、理想的なリサイクルが実現する、といい事づくめのようである。

だれにでも出来るEMの活用

(1) 米のとぎ汁



フタをきつく閉めて常温で4～5日置くととぎ汁活性液の出来上がり。

● 入浴剤として一活性とぎ汁300～500mℓ入れる。アトピー、水虫、ニキビ、フケ等によい、流れた風呂の水は、下水、河川を蘇生。

● 花や野菜に一200～300倍に薄めてジョロでまく。

(2) 生ゴミ　10ℓの密閉容器（下方に発酵液をとり出す管がついた専用器あり）。

①堆肥に出来るもののみ三角コーナーにためる。タバコ、ビニール等除く。

②たまった生ゴミは新鮮なうちに水切りして容器へ。

③EMボカシ（市販品、又は自分で作る）をふりかける（5～10g）。

④蓋をしっかりしめる。容器がいっぱいになるまで繰り返す。

⑤いっぱいになったら、夏は1週間、冬は2週間冷暗所において熟成させる。

⑥容器の下の方に溜る発酵液は、100倍くらいに薄めて、流し、トイレ、下水に流すと、臭いがとれ、汚れも落ち、更に河川、海へと環境浄化にもつながる。

環境浄化の原点は生ゴミ処理からと云われています。上記の如く簡単に出来ます。生ゴミ処理する事により、少しでも農薬、化学肥料が減り、上質の有機肥料で土壌が蘇生し、発酵液をトイレ、下水に流す事により河川・海も蘇ります。

〈会員広場〉

学会場では眠くなる？

高 橋 秀 児

眼科医は全国で約13,000人、その1/3以上が参加する最大の学会が臨床眼科学会（通称臨眼）です。来年は東京国際フォーラムで開催予定、今年は京都の宝ヶ池の国際会館で10月24日～27日に50周年記念学会として行われました。一般361、ビデオ講演37、学術展示272の演題が採用されています。特別講演の１つは正常眼圧緑内障、眼圧は正常（21mmHg以下）なのに病態は緑内障そのもの、実はこれが現時点では一番多い緑内障なのです。眼圧を測って正常だとしても緑内障の除外はまったくできないことになります。この話は専門的になりますので、もう１つの講演『眠りの秘密』に関してお話します。演者は1942年阪大卒、京大教授、大阪医大学長を歴任、文化勲章も受けておられる、現大阪バイオサイエンス研究所所長の早石修氏です。今までに２回程、同研究所の部長の講演を伺ったことはあるものの、１回は視覚野可塑性の修飾機序という難しい演題で、最後まで聞くにはいささか……でした。今回は最後までバッチリ聞くぞと意気込んでメインホールでレポート用紙を開き、ボールペンを片手に聞き始めました。予定は２時～３時の１時間。昼寝には最適の時間帯です。

睡眠の調節が如何に行われているか？教科書的にはノルアドレナリン、セロトニンなどの関与が記述されていたが、実際はプロスタグランジンのD_2（分子量27000程度の糖蛋白）だったとのこと。これを合成する酵素の局在は様々な研究により脳実質ではなく、軟膜、クモ膜、脈絡叢とほんのわずかに脳梁にあることがわかってきた。そこから酵素が脳脊髄液中に分泌され、D_2が合成されることによって、生理的な睡眠を誘導するそうです。また不眠物質となりうるD_2合成酵素阻害物質も４価のセレン化合物であることを発見。話は少し逸れますが、１９６１年にデンマークの臨床化学者Clausenはヒトの脳脊髄液にβ-traceなる蛋白を発見した。これは脳脊髄液中の総蛋白量の10%を占めているものの、まったくその生理的意義は不明でした。ところが1993年に米国、ドイツでβ-traceの１次構造がD_2合成酵素のものと一致することがわかり、つまる所、軟膜などの組織で作られたD_2合成酵素が脳脊髄液中に分泌されてβ-traceになるという結論に達しました。またこの後、話はD_2の作用部位、眼球における分布、眼での作用に及びました。

この１時間というもの、結局小生の脳脊髄液にはD_2合成酵素は分泌されなかったようです。特別講演としてはひさびさのヒットでした。巷でもそんな囁きが聞かれました。しかし活字になってしまうと結構固い話になりました。D_2が一気に合成されそうですね。

宿泊は1994年開業の日航プリンセス京都でしたが、賑やかな河原町に出るのにタク

シーでは乗車拒否されそうな？距離です。京都ホテルかロイヤルホテルがより便利そう。観光のみでホテルライフをエンジョイするならなんといってもブライトン。地下鉄が学会場まで延びれば（1997年秋）、隣接する宝ヶ池プリンスホテルもいいかもしれません。

（1996.11.20記）

周南三市医師会役員会

日時：11月6日(水) 午後7時～
場所：下松市ホテル幾久屋
出席者：
（徳山医師会）
会長－光永　徹、副会長－石川良興
理事－桜田顕栄、福山　勝
庶務－野村恒民
（光市医師会）
会長－近藤龍一、副会長－前田昇一
理事－梅田　馨、光武達夫、
河村康明、吉村明人
（下松医師会）
会長－藤原敏雄、副会長－武内節夫
理事－澤　哲一郎、重岡秀信、中島洋二
野見山宏寿、梶原功一、明石和彦

議題：
1）平成9年度予防接種報酬要望額について
2）平成9年度健康診断等出務報酬要望額について
3）平成9年度学校医報酬要望額について
4）平成9年度母子保健事業委託料について
■健診関係
妊婦健康診査、乳児健康診査、
1才6ヵ月児健康診査、3才児健康診査
■健康教育、相談関係
■訪問指導関係
5）その他
他市における集団的個別指導の対象から除外又は延期の申請書の検討

廣田先生に表彰状が授与される

35年余りにわたり光高等学校の校医として尽力された功績に対して、県教委の教育功労者として、教育振興の部に表彰されました。おめでとうございます。

11月定例理事会

日時：11月13日(水)　午後7時30分〜
場所：医師会事務局
出席者：近藤、前田、梅田、河村、松村
　　　光武、赤崎、藤原、吉村
議題：
1) 第129回定例代議員会の報告
　　（近藤会長）
2) 地域医療担当理事協議会の報告
　　（梅田理事）
　　（協議会出席ー兼清会員）
3) 労務担当理事協議会の報告（松村理事）
4) 平成9年度医師出務報酬要望等について　（前田副会長）
5) 三師会親睦会の会計報告（近藤会長）
　理事会了承
6) その他
　㋑集団的個別指導の問題
　㋺11月例会議題の件
　㋩新年互礼会の件ー1月28日予定

11月度月例会

日時：11月26日(火)　午後7時30分〜
場所：光商工会館
出席者：19名
議題：
1) ビデオ「アルツハイマー病の病因」
2) 集団的個別指導の状況報告
　　光武理事
3) 労働時間の改訂について
　　松村理事
4) その他
　㋑署名活動の件
　㋺休日診療所に関する件

保健サービス評価 支援地域委員会の報告

日時：11月28日(木)　15時～16時20分
場所：徳山環境保健所
出席者：
（保健サービス評価支援地域委員）
中村俊一郎　　（徳山医師会）
福山　勝　　（徳山医師会）
重岡秀信　　（下松医師会）
吉村明人　　（光市医師会）
（徳山環境保健所）
上村輝夫　　（保健所長）
野村　孜　　（健康増進課長）
田中美千穂　　（健康増進課主任）
議題：
1）委員長の選出
2）管内保健事業の現状について
3）委員会の活動について
■保健サービス評価支援方法について
■現地調査地区担当委員及び調査日程について
4）その他

心電図研究会（第101回）

光市・下松医師会合同
日時：11月8日(金)　午後7時30分～
場所：光商工会館
出席者：11名
症例：
1）68才、♀（主訴）体動時の易労感、心房中隔欠損＋骨の異常（診断）ホルトオダム症候群
2）58才、♂、心房細動による心臓突然死ー拡張型心筋症
3）58才、♂（主訴）動悸、胸痛（診断）心房細動ー拡張型心筋症
4）48才、♂（主訴）左胸痛、（診断）回旋枝・左前下行枝梗塞

光医歯会遠征ゴルフコンペ成績

日　時　：　11月4日
場　所　：　別府ゴルフクラブ

氏 名	OUT	IN	GROSS	H.D.	NET	順位
藤 村	43	43	86	14	72	優勝
松 村	49	50	99	24	75	準優勝
光 武	45	43	88	11	77	3位
前 田	46	49	95	16	79	4位
森 本	45	44	89	9	80	5位
諏 訪	49	48	97	15	82	6位
藤 本	60	54	114	22	92	7位

会員動向

（退会）別府理子ー梅田病院
10月31日退会

||||| あとがき |||||

今年も、もうしばらくで終ろうとしております。寒さもだいぶきびしくなってまいりました。

12月7日には、板垣省三先生の死去という悲しいでき事がありました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

これからも寒さが一段と増してくると思います。くれぐれも健康にご留意されまして、よいお年をお迎え下さいますよう。

（吉村）

発行所	光市医師会 TEL 0833 72－2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社